

# 上植野浄水場を建設

## 58年夏には一部通水



完成予想図

さる十一月十日、上植野浄水場建設(第八次拡張事業)の起工式が建設現場(上植野町久我田)で行われました。今回の事業は目標年次を昭和六十五年と定め、計画給水量三万六千立方メートルを確保するために、新たに一日当り六千立方メートルの能力を有する浄水場を建設するものです。

これにより、本市の水需要に対応し、市民のみならず、安心しておいしく飲める水を供給していきます。

本市の水道事業は、昭和四年に現在の阪急電鉄(株)が西向日に住宅専用水道を布設したのを受けて、昭和二十八年から拡張事業を行ってきました。当初は計画給水量四千人、計画給水量六百立方メートルという規模でしたが、第七次拡張事業では計画給水量六万人、計画給水量三万立方メートルの施設を有し、人口で約十五倍、給水量では何と約五十倍にもなっています。



水需要に対応できなくなるものが予測されるため、今回第八次拡張事業を行うものです。

12月4日から10日まで「第33回入植週間」です。城南入植協議会と向日町地方自治会が主催です。

### 人権相談所を開設します

では、週間行事の一環として、次のとおり特設相談所を開設しますので、ご利用ください。

なお、相談は無料で、秘密は厳守されます。

◆とき 8日(火) 午前10時～午後3時

◆ところ 市民会館

◆人権擁護委員 中山仙三氏

今回の拡張事業は、昭和五十五年度から五十九年度までの五年間にわたる、浄水場建設(一日最大給水量六千立方メートル)、取水井戸掘削、導水管布設および配水管布設などの工事をする予定です。事業の中心である浄水場は、四千六百八十七平方メートルの土地に管理本館(千四百四十二平方メートル、二階建)、急速ろ過機(六基)、潜水井(一井)、酸化槽(二池)、排水池兼濃縮槽(二池)、浄水池および配水塔などを建設します。中でも配水塔は高さ約三十五メートルにもなり、向日市の新しいシンボリック的存在となることが予想されます。ちなみに配水塔のデザインは、上から見ると市民の花ヒマワリを、横から見ると市民の木モウソウツタを表現しています。また、管理本館内の電気計装設備では、各浄水場の状態を監視できるようにシステムになっています。

今年度末から本格的な工事に入りますが、昭和五十八年夏期に一部通水を目ざし鋭意推進します。

### お知らせ

京都府では、向日町地方振興局、向陽保健所、乙訓土木工務所、京都農業改良普及所向日町支所、乙訓教育局を1か所に集めた京都府乙訓総合庁舎を、向日市上植野町馬立8番地に建設していましたが、このたび完成いたしました。

つきましては、次のとおり移転します。移転当日は市民のみならず、ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

▽移転日 向日町地方振興局・京都農業改良普及所向日町支所 10日、乙訓教育局 14日、向陽保健所 17日、乙訓土木工務所 18日



市史編さん活動日誌から②1

長い間、向陽保健所と同一敷地にあった遊病院を運営していた乙訓病舎組合が、数年前に任務を終えて解散しましたが、その古い記録を調べたところ「南桑田郡ヨリ乙訓病院視察ニ関スル調査要項」という表題のついた簿冊がみつかりました。

内容からすると大正十一年(一九二二)のものと思われるが、恐らく南桑田郡の町村から視察にこられたときに乙訓病院関係の記録をまとめたものです。そのほかいくつかの関係の記録があり、この病院の歴史を簡

### 乙訓病院のことなど

池田敬正 (京都府立大学教授)

単にまとめてみました『京都府誌』は、明治三十四年(一九〇一)二月に乙訓郡諸離病舎を落成したと記し、郡部における組合立病院のはじめであると注記してありました。この組合は、乙訓郡下の向日町、久世村、久我村、羽束師村、淀村、大山村、新神足村、海印寺村、乙訓村、大原野村の十か町村が町村制(明治二十一年(一八八八)制定の法律)にもとづいて結成したものでした。この組合は、明治三十三年(一九〇〇)二月二十三日に郡長より設立が許可され、組合員は十五名(向日町が三名、久世・新神足・大原野村が各二名、他村は各一名)とし、郡長が管理者となっていました。そして「郡内各町村伝染病患者ヲ無料ニテ入ルモノトス」との管理規則を定めます。

このころは、明治三十年(一九〇七)に伝染病予防法を制定するなど伝染病対策をもっとも重要な衛生行政としていた時期でしたが、明治のころに、京都の郊外の農村地域で伝染病患者を無料で収容する公立病院を郡内の町村が協力して設立したという事は、当時の人たちの積極性あるいは地域の協調ぶりをしのばせるものです。

こうして向日町向日小字北山(現在の向日台

団地の一部大正六年(一九一七)に移転)で地敷を買収し、病院の建設が開始されましたが、明治三十四年(一九〇一)二月二十三日付けの「乙訓病院建設成積簿」に記載された規模をみると敷地が九百九十七坪八合、建坪は二百四十五坪五合であり、総工費は五千四百三十八円四十九銭三厘となっていました。

この費用は、二分の一が府からの補助金であり、二分の一は各町村の負担によっています。各町村の負担は、一戸あたり八十五銭の割合で課せられました。なお、同じ郡内の大枝村は、どうい理由なのかこの組合に参加していませんが、各町村の負担と同じ割合で寄付をしています。明治三十八年(一九〇五)の歳出決算額が五千九百四十円、あるいは明治三十五年(一九〇二)の向日町役場書記五名の平均月給が八円十銭であったことを考えますと、この病院のために、当時の人たちはかなりの負担をしていたことがわかります。

### 総理大臣賞を受ける

#### 昨年の国勢調査

昨年10月1日に行われた国勢調査は、調査員、市民のみならずのご協力を得まして無事終了しました。また、同日、毎月勤労調査に、給支支払報告書は2月1日までに市へ提出してください。

- ▼ 12月の行事予定
- ▼ 老人福祉センター
- ▼ 12月1日(日) 13時30分
- ▼ 12月3日(火) 17時(木)
- ▼ 12月5日(木) 17時(土)
- ▼ 12月7日(日) 17時(金)
- ▼ 12月9日(火) 17時(木)
- ▼ 12月11日(木) 17時(土)
- ▼ 12月13日(日) 17時(金)
- ▼ 12月15日(火) 17時(木)
- ▼ 12月17日(木) 17時(土)
- ▼ 12月19日(日) 17時(金)
- ▼ 12月21日(火) 17時(木)
- ▼ 12月23日(木) 17時(土)
- ▼ 12月25日(日) 17時(金)
- ▼ 12月27日(火) 17時(木)
- ▼ 12月29日(木) 17時(土)
- ▼ 12月31日(日) 17時(金)

- ▼ 18日(金) 午前11時30分～午後1時
- ▼ 高齢者職業相談 8日(火) 午前10時～午後4時
- ▼ 健康相談 11日(金)・25日(金) 午後2時～3時30分
- ▼ 歳末大掃除 23日(水) 午前10時～11時30分
- ▼ 忘年会 24日(木) 午前11時～午後3時
- ▼ 映画会 27日(日) 午後1時～2時30分

## ことば きこえ の教室 ①

### ことばを育てる 聞きとる力

「話し上手は聞き上手」と言われます。これは話し手が気持よく話せるようにうまく、つまり話を相手から引き出す力の面を強調した聞く力と言えます。

発音を正しくするためにもやはり「聞き上手」にならなければなりません。

周囲の人の発音を正しく聞きとる力があるからこそ正しい発音ができるのです。

子ども達の発音が不正確になる原因には二つ考えられます。一つは発音の器官が十分に発達しきっていない場合(特に舌の動きが悪い)、もう一つは発音を正しく聞きとる力がないことです。

(この欄についての感想・ご質問・ご意見をお寄せください)

ことば きこえ の相談

▼とき 毎週土曜日 午前中

▼ところ 第6回廊下

☎984-10403

## 家庭不用品 ゆずり合い 取り次ぎコーナー

(ゆずります)

- マイブガレージ.....1件
- コンビラック.....1件

(ゆずってください)

- 子供用自転車(14・16・18・20インチ)・ベビーバギー・ステレオ・三輪車・あんま機・婦人用自転車・セミダブルベッド・ピアノ・石油ストーブ・整理ダンス・学研システム教材・ジュタン・カーペット

◆連絡先 経済課 内線 256

「乙訓の統計」(56年度版)を市役所会計課で頒布しています。 1部 200円